

案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案

資料の主な内容

- ① 取組スケジュールの見直しについて
- ② 計画案について
- ③ 管理者協議の進捗について(非公開資料)

案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案

- ① 取組スケジュールの見直しについて

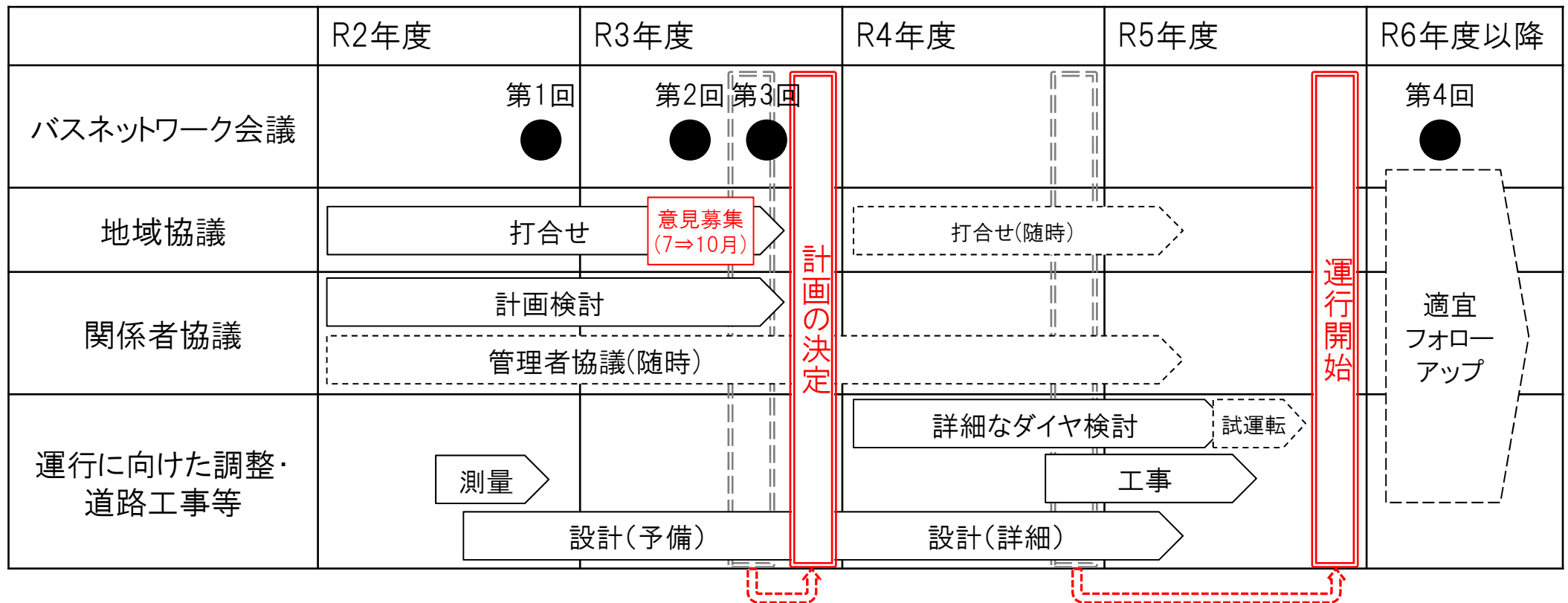
案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案 ① 取組スケジュールの見直しについて

■取組スケジュールの見直しについて

- 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応により、地域や関係機関との打合せ等を控えた一方で、関係者協議をより丁寧に進めていくため、下記のとおり取組スケジュールを見直しました。

【主な変更内容(予定)】

意見募集: 令和3年7月 ⇒ 令和3年10月
 計画の決定: 令和3年度秋頃 ⇒ 令和3年度末
 運行開始: 令和4年度末 ⇒ 令和5年度末



※現時点での大まかな予定であり、関係者協議等の進捗により今後も適宜変更する場合があります。

案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案

② 計画案について

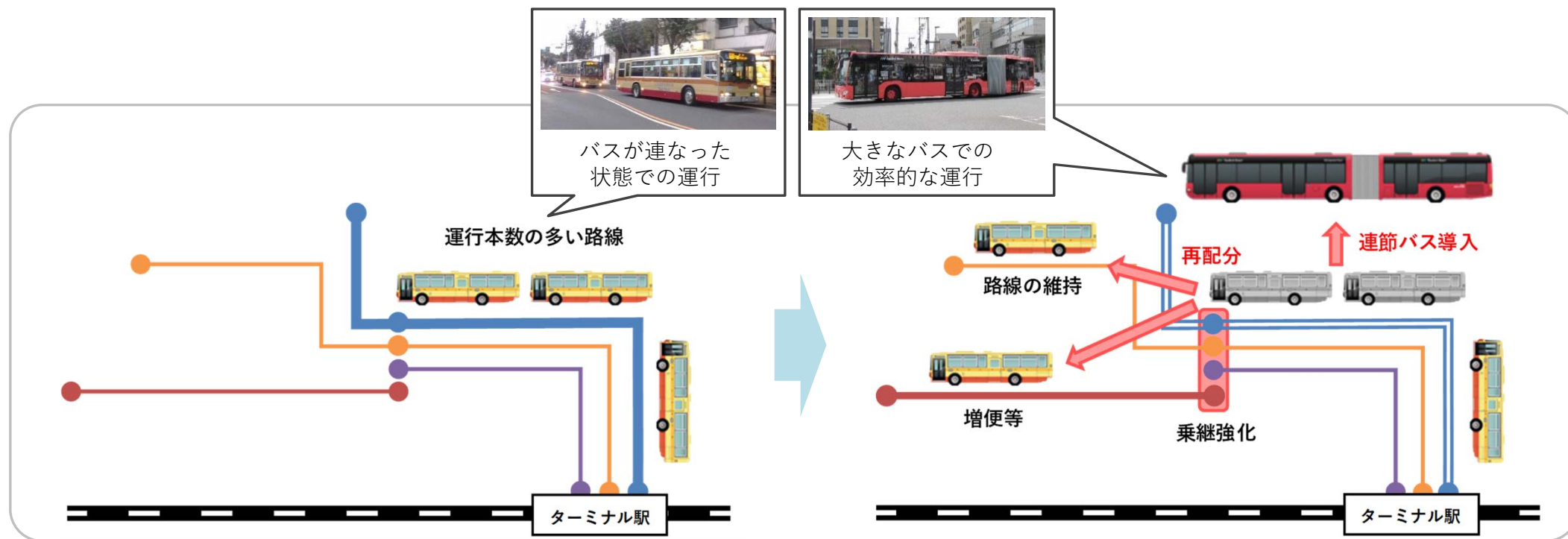
案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案 ② 計画案について

■取組の背景

- 生産年齢人口の減少に伴い、バス利用者や運転士が減少
 - ⇒戸塚区南西部においても減便等が進み、バスネットワークのサービス水準の維持が困難に（コロナ禍により加速）
 - ⇒限られた経営資源で効率的にバス路線を維持していく必要性が高まっている

■取組の概要・目的

- 運行本数の多い路線に連節バスを導入し、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で便数を減らす
- 一方で、生み出されたバス事業者の経営資源を再配分し、他の路線の維持・強化に充てる
 - ⇒エリア全体のバスネットワークを可能な限り維持する



戸塚区における取組の概要イメージ

案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案 ② 計画案について

※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

■取組の全体像

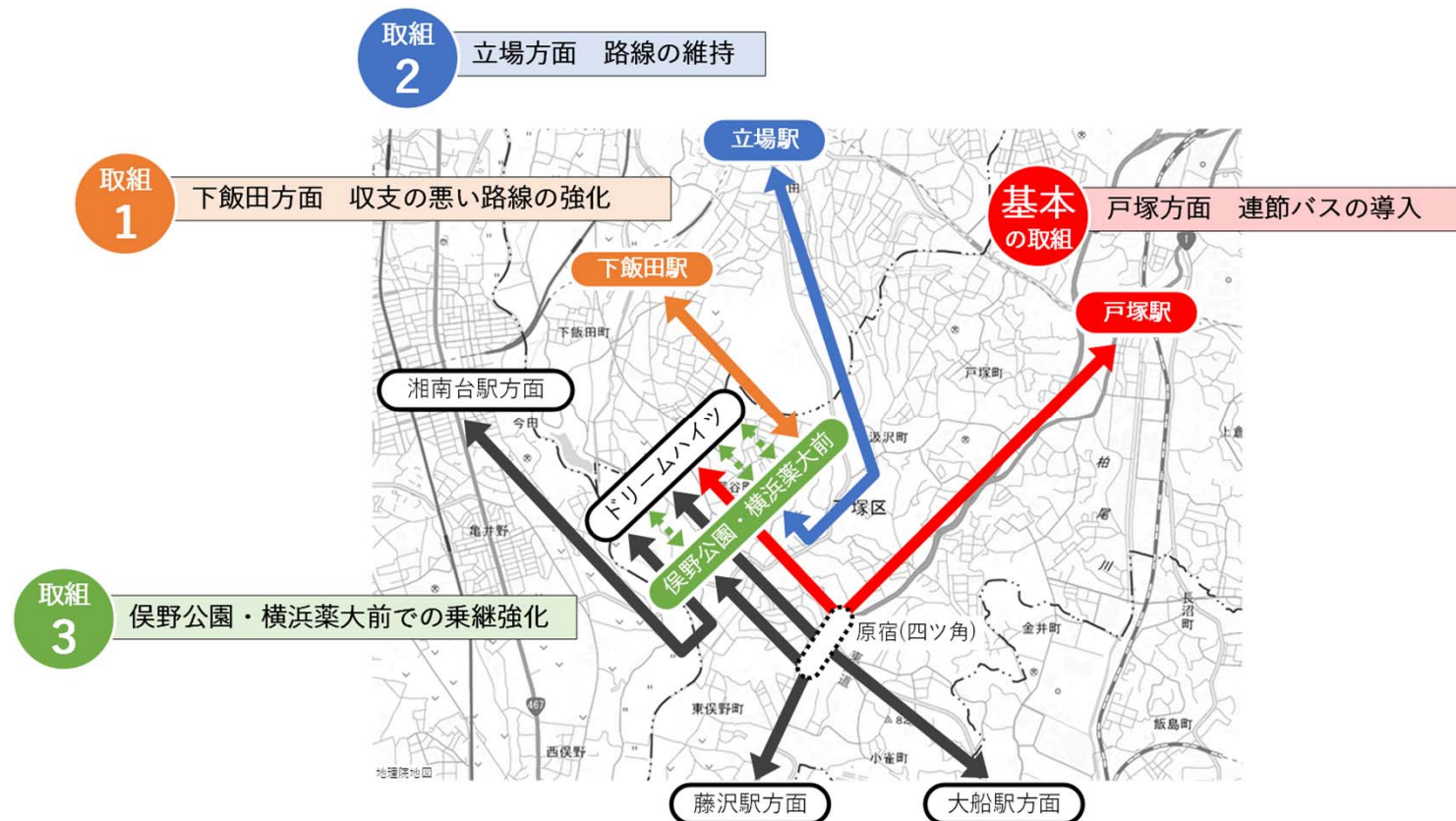
「連節バスの導入」(基本の取組)によって生み出された経営資源を、「他の路線の維持・強化」(取組1～3)に充てます。

【連節バスを導入する路線】

- ・ ドリームハイツ～(俣野公園・横浜薬大前)～戸塚バスセンター

【経営資源を再配分し、維持・強化を行う路線】

- ・ 下飯田駅方面、立場駅方面、藤沢駅方面



案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案 ② 計画案について

基本 の取組

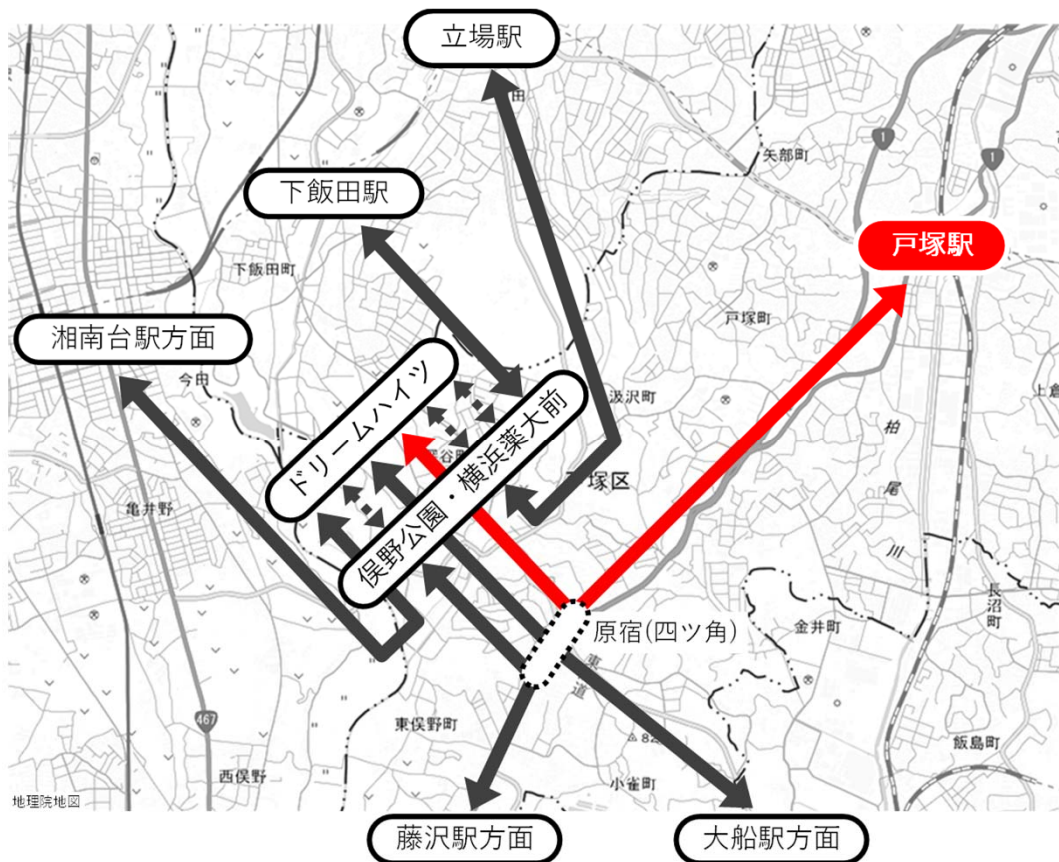
戸塚方面 連節バスの導入

【取組の概要】

- ・ ドリームハイツ～戸塚バスセンター間に導入
- ・ 朝と夕方に、通常の大形バスと混在して運行
- ・ 連節バスの便は戸塚駅近くの一部バス停を通過

【取組による効果・影響】

- ・ バス停の通過による定時性向上
- ・ 1時間あたり2～4便程度減便(輸送力は確保)



※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

連節バス導入前後の1時間あたり便数(目安)

俣野公園・横浜薬大前バス停⇄原宿バス停

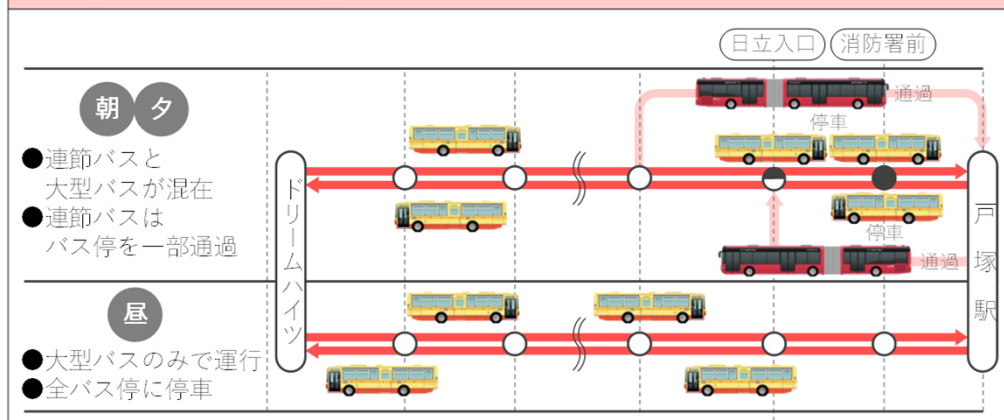
	取組前	最小・最大の運行間隔	取組後	最小・最大の運行間隔
朝 (戸塚方面)	17便	(3~6分)	13便	(3~10分)
昼※1 (両方向)	7便	(4~13分)	5便	(6~20分)
夕 (ドリームハイツ方面)	11便	(4~10分)	7便	(4~15分)

原宿バス停⇄戸塚バスセンター ※藤沢発着を含む

	取組前	最小・最大の運行間隔	取組後	最小・最大の運行間隔
朝 (戸塚方面)	20便	(1~5分)	17便	(1~10分)
昼※1 (両方向)	10便	(1~9分)	8便	(1~20分)
夕 (ドリームハイツ方面)	15便	(2~6分)	11便	(2~10分)

※1ダイヤ全体の見直しにより、連節バスが運行する朝夕以外にも一部便数が変わる可能性がある時間帯が存在するため、参考に記載しています。

連節バスによる運行のイメージ



案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案 ② 計画案について

取組 1

下飯田方面 収支の悪い路線の強化

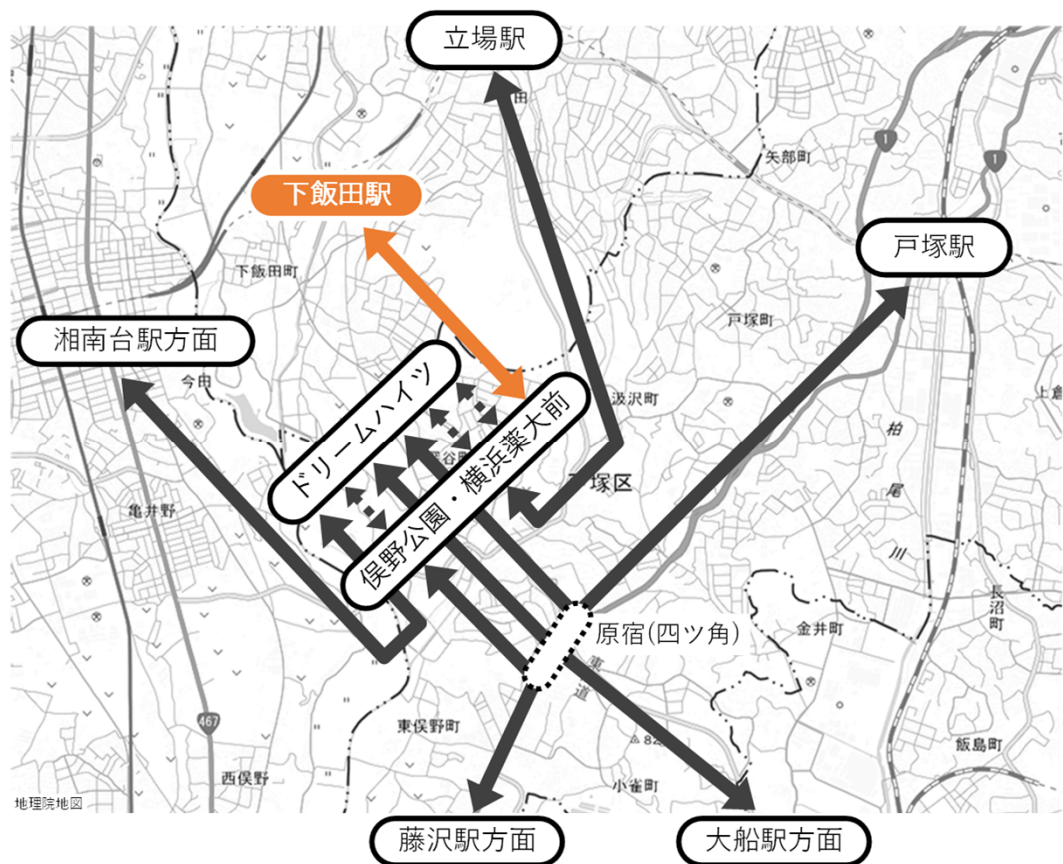
※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

【取組の概要】

- ・ 俣野公園・横浜薬大前～下飯田駅の運行便数を増加

【取組による効果・影響】

- ・ 朝の通勤通学に合わせて、下飯田駅方面の始発の繰上げ(8時台⇒6時台)
- ・ 夜の帰宅に合わせて、俣野公園・横浜薬大前方面の終車の繰下げ(19時台⇒20時台)



取組前後の運行時間帯・便数

			取組前	取組後
運行時間帯	下飯田方面	始発	8時57分	6時台
	俣野公園・横浜薬大前方面	最終	19時54分	20時台^{※2}
便数	1時間あたり便数		0～2便	0～2便

※ 駅前広場完成後の下飯田駅で折返しした場合の想定です
 ※2 今後の協議や利用状況等に応じて変更となる場合があります

案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案 ② 計画案について

※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

取組 2

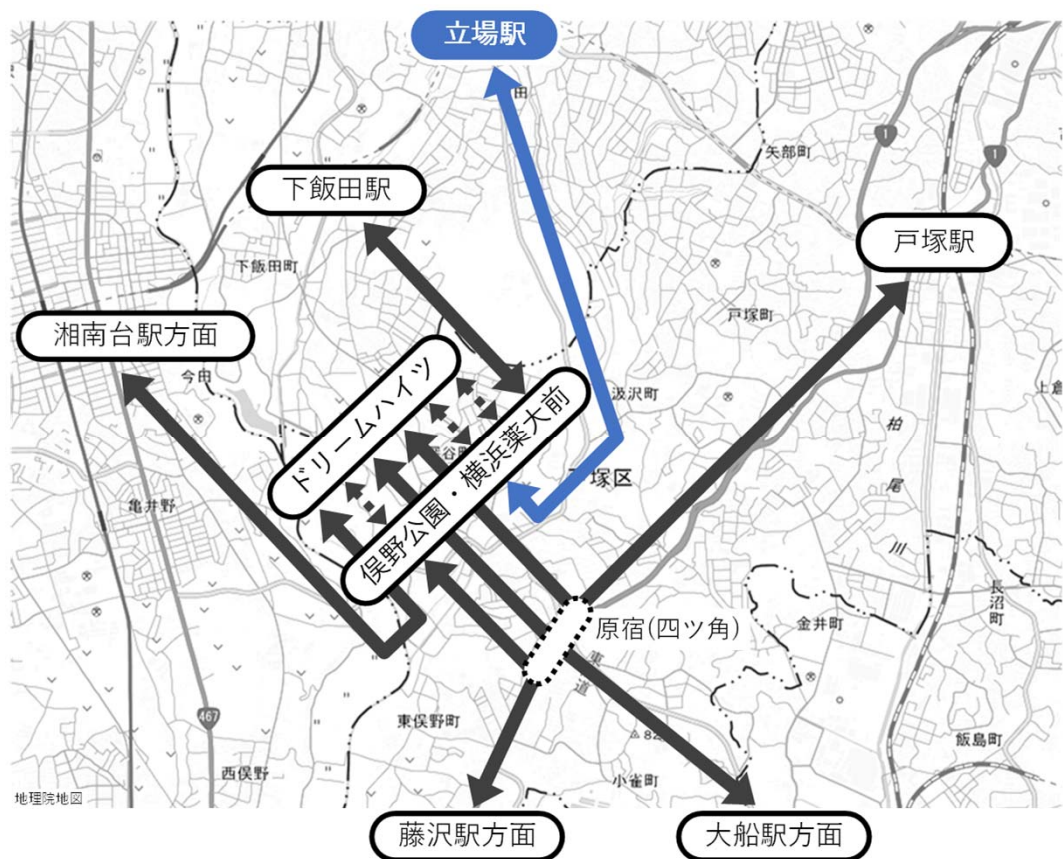
立場方面 路線の維持

【取組の概要】

- ・ 利用者が減少により廃止の検討可能性がある路線を当面維持

【取組による効果・影響】

- ・ 廃止の検討可能性がある路線を当面維持



取組前後の状況

取組前	取組後
廃止の検討可能性	当面路線を維持

案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案 ② 計画案について

※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

取組 3

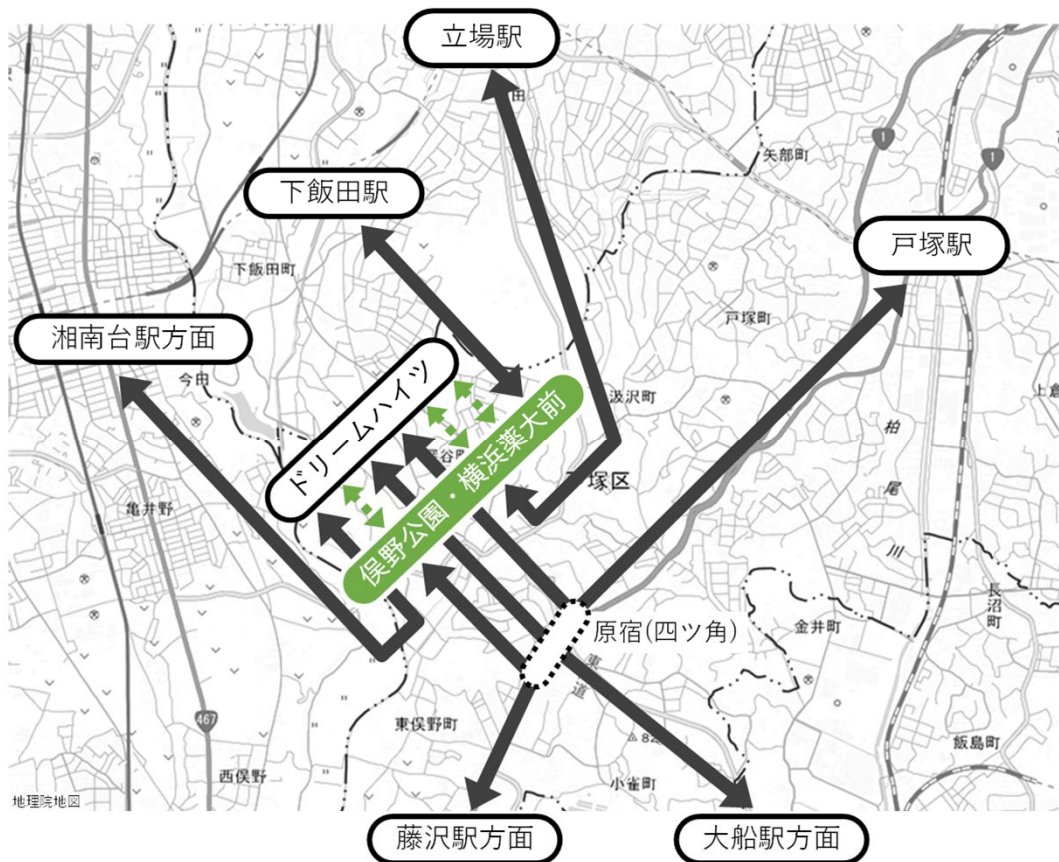
俣野公園・横浜薬大前での乗継強化

【取組の概要】

- ・ ドリームハイツからの直通が無い路線への乗継割引等の検討

【取組による効果・影響】

- ・ ドリームハイツから立場・藤沢方面への利便性が向上
- ・ ドリームハイツからの直通便が無い時間帯における各駅への利便性も向上



取組前後の状況

取組前	取組後
立場・藤沢方面からドリームハイツへの直通なし	乗継割引等の検討

■ 計画案に対する意見募集について

【目的】

- 本取組の概要について地域の皆様やバス利用者等に広報し、その内容を知っていただく。
- 地域の代表者だけでなく、若年層や中年層を含む
広くバスを利用されている方からも、本取組についてご意見を伺う。

【実施方法】

- 配布： 大正地区の希望される町内会自治会の全戸、
神奈中バス車内、戸塚駅、横浜医療センター、
大正地区センター、戸塚区役所窓口(区政推進課)
- 広報： 大正地区の町内会自治会で回覧、
神奈中バス車内ポスター掲示、市道路局ウェブサイト掲載、
戸塚区役所ツイッター投稿(約8,500人フォロワー)

【回答方法】

- 横浜市道路局ウェブサイトのアンケートフォーム
- アンケート用紙の郵送、ファクス、Eメール、直接持参

【実施後】

- 実施結果は地域の代表者の方々や事業者と共有し、
計画案の修正の可否を検討する予定です。

戸塚区南西部で
バス路線を維持していくための取組について
ご意見をお聞かせください



横浜市と神奈川中央交通株式会社(以下「神奈川中央交通」)は、戸塚区南西部におけるバス路線の維持に向けた取組を進めており、主要バス路線の運行効率化と、それにより生じた経営資源をその他の路線へ再配分し、**エリア全体のバスネットワークを維持する取組**を検討しています。2, 3 ページに取組の素案を記載していますので、この取組の実施を想定してご意見をお寄せください。

募集期間・回答方法・お問合せ先

募集期間 令和3年10月1日(金)から10月21日(木)まで(当日必着)

回答方法 次の①または②の方法よりご意見をお寄せください。

①下記ウェブサイトのアンケートフォームからご回答ください。
バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業 ウェブサイト：
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/bus_kotsu/soukou/soukoukankyou.html

②裏面の記入用紙にご記入いただき、下記の「ご提出先」まで、郵送、ファクス、Eメール、直接ご持参にて、記入用紙をご提出ください。(1枚につきお1人ご回答ください。記入用紙はコピーでも構いません。また、上記ウェブサイトからダウンロードもできます。)



ご提出先1 お問合せ先

横浜市道路局企画課(交通計画班)
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
電話：045-671-3800 ファクス：045-651-6527
Eメール：do-koutsuu@city.yokohama.jp

ご提出先2

横浜市戸塚区政推進課(区役所9F 93番窓口)
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16番地17
電話：045-866-8326 ファクス：045-862-3054
Eメール：to-kusei@city.yokohama.jp

取組スケジュール・意見募集の位置づけ

現在、神奈川中央交通が作成した素案について、関係の深い地域の皆さんとの打合せや専門家会議でご意見を伺っており、並行して、この意見募集により広くご意見を伺うものです。

R3年10月 R3年度末 R5年度末目標



意見募集(アンケート)用紙表紙
※別添資料で内容をご確認いただけます

1

案件2 青葉区における取組の開始について

青葉区における取組の開始について

■取組実施の背景

- 青葉区は東西方向に走る鉄道を骨格として、各駅発着の路線バスが交通ネットワークを形成している
⇒バスネットワークの重要性が高い
- 青葉区北西部は特に高齢化率が高い地域
また、鉄道駅から遠く、長距離輸送路線が多い
⇒地域交通の確保が課題
- 当該地区の運行事業者(東急バス株式会社)に連節バス導入の意向
⇒青葉区北西部において本事業を推進

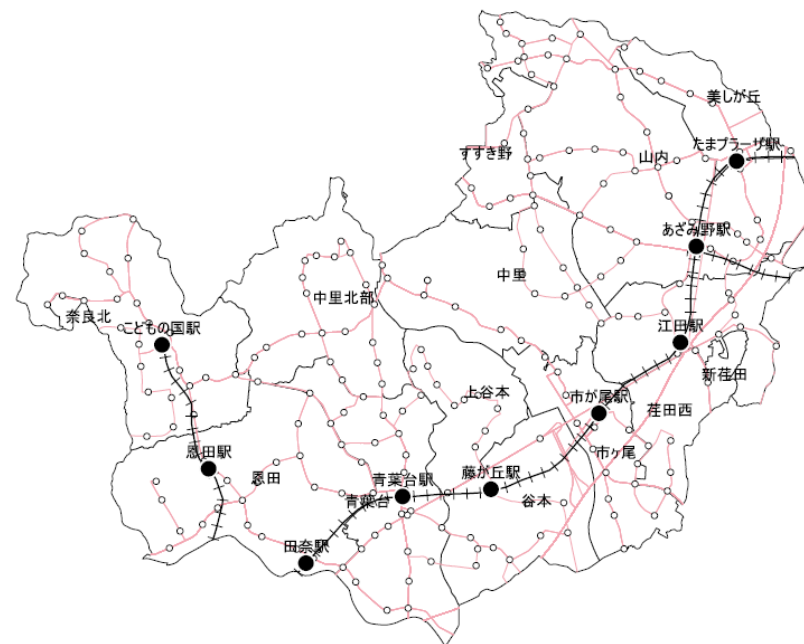


図1 青葉区の交通ネットワーク

■取組概要

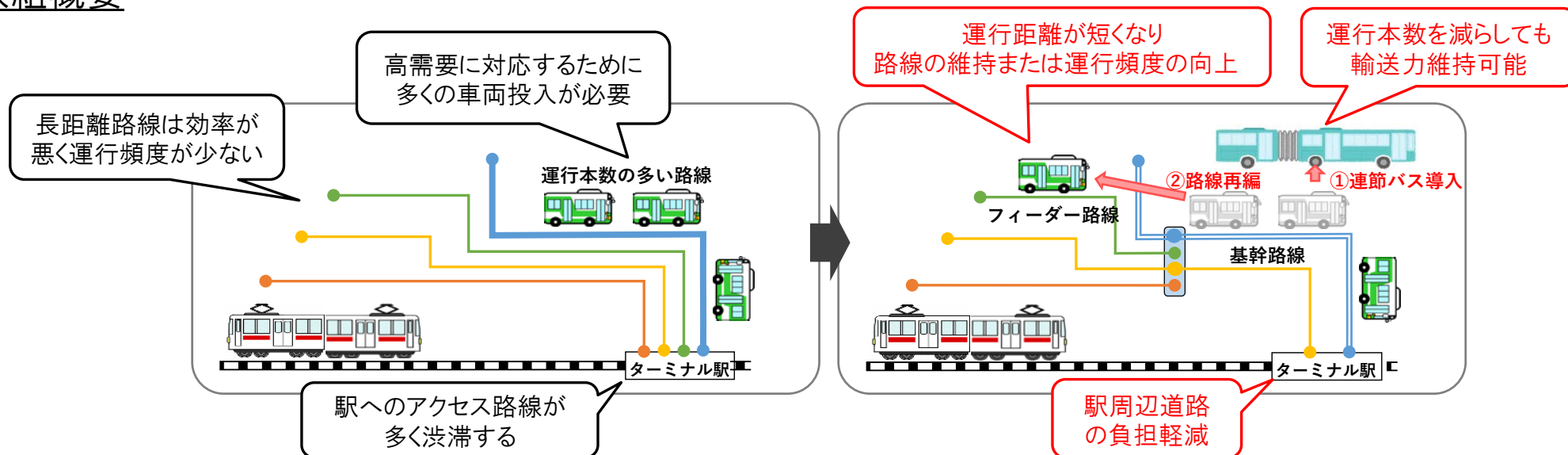


図2 事業イメージ

青葉区における取組の開始について

■青葉区北西部路線の概要(東急バス株式会社)

【青55系統】

青葉台駅～あかね台
運行距離 4.30km
運行便数 30便
ピーク時 51分車間
乗車人数 341人

【青56系統】

青葉台駅～緑山(循環)
運行距離 13.08km(1周)
運行便数 13便(循環)
ピーク時 52分車間
乗車人数 357人

【青61系統】

青葉台駅～日体大
運行距離 3.11km
運行便数 387便
ピーク時 2分車間
乗車人数 4,786人

【青118系統】

青葉台駅～奈良北団地折返場
運行距離 5.40km
運行便数 104便
ピーク時 11分車間
乗車人数 1,670人

※運行便数:平日・R3年9月末時点
乗車人数:1日あたり平均・R2年度実績

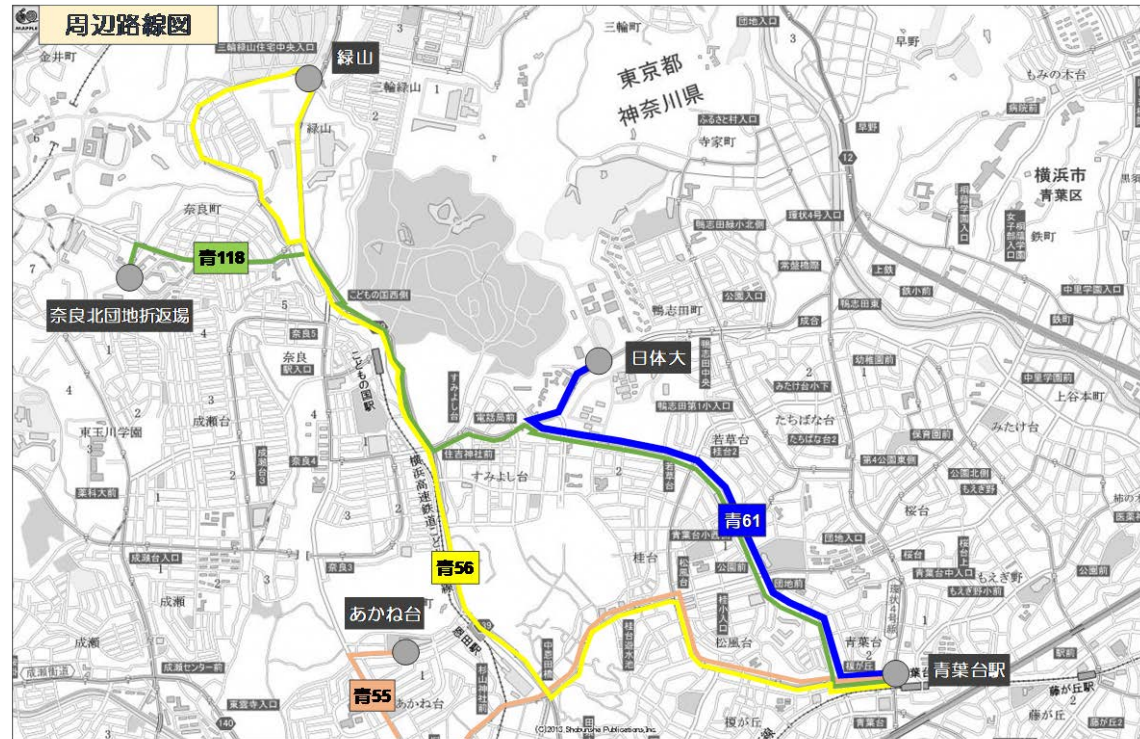


図3 青葉区北西部 路線図(東急バス株式会社)

■青葉区北西部の取組について

- 高頻度・高需要路線への連節バス導入や長距離路線のフィーダー化の実施などにより、運行効率化を行います。
- 効率化で生み出された経営資源を再配分することにより、面的なバスネットワークの維持・充実を図ります。

■これまでの動き

- ~2019年(令和元年)頃 横浜都市交通計画等に基づき、横浜市とバス事業者で取組の方向性を検討
- 2020年(令和2年)上期 関係機関との調整開始
- 2020年(令和2年)下期 地域代表への説明・調整開始
- 2020年(令和2年)11月 バス事業者が連節バス導入想定ルート上で試走し、課題抽出
- 2021年(令和3年)上期 取組の事業化、引き続き関係機関・地元調整

■市と事業者の役割分担について

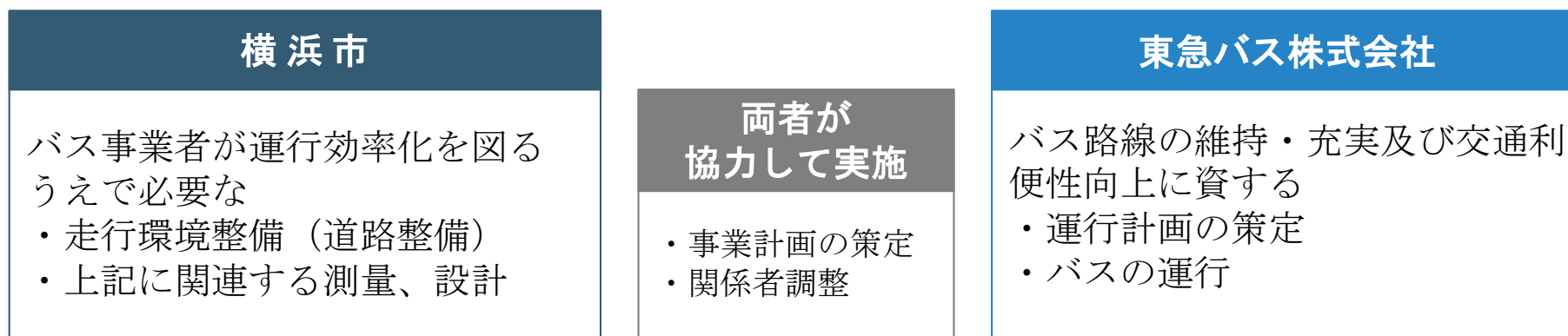
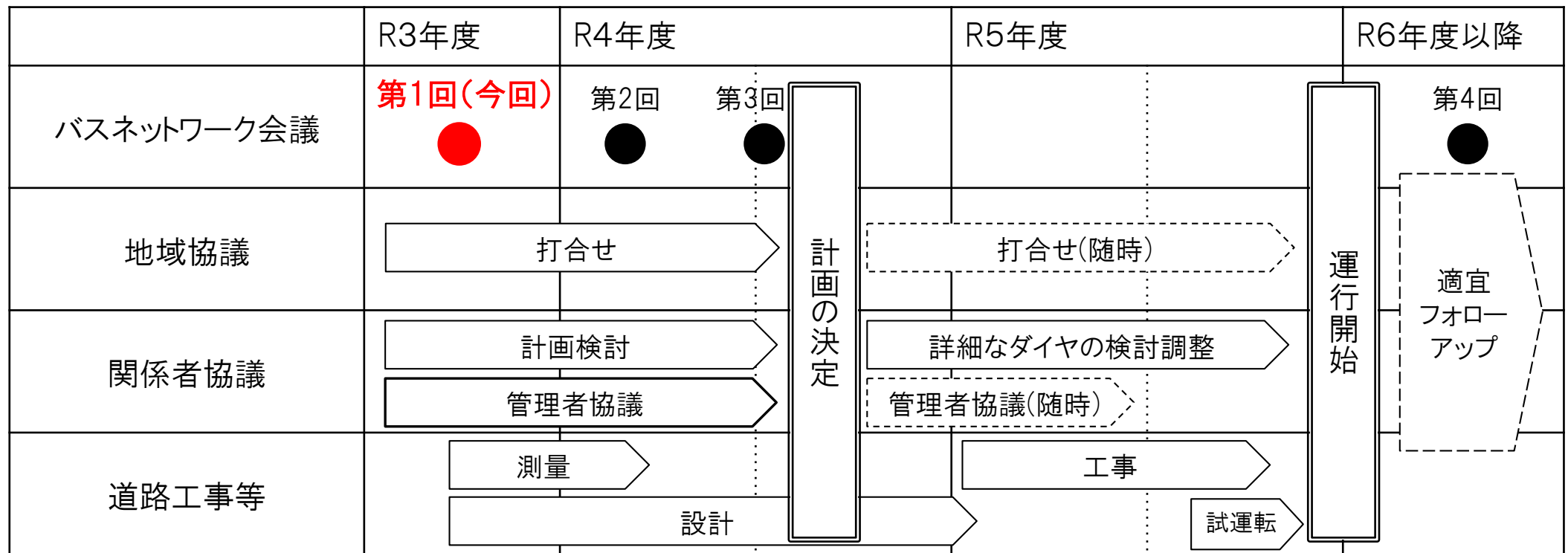


図4 市と事業者の役割分担

青葉区における取組の開始について

■今後のスケジュール(予定) ※現時点での大まかな予定であり、関係者協議等の進捗により適宜変更します。



※バスネットワーク会議 内容(2回目以降は予定)

第1回:取組開始 第2回:方向性揭示 第3回:計画案の提示 第4回:フォローアップ